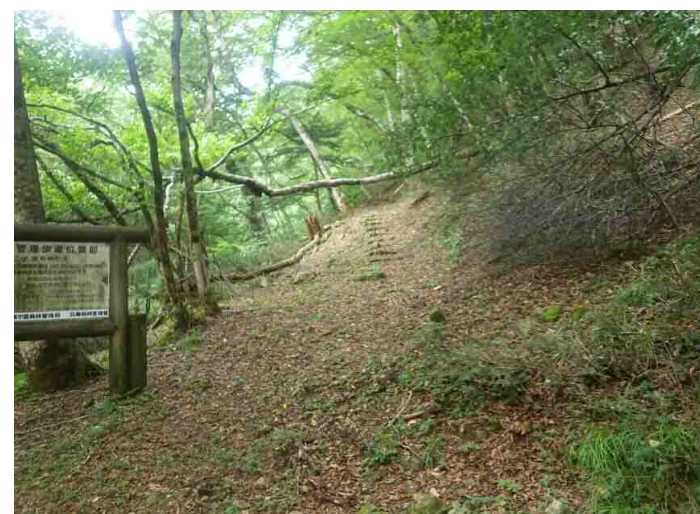


## 音水モミ・ブナ・ミズナラ等遺伝資源希少個体群保護林

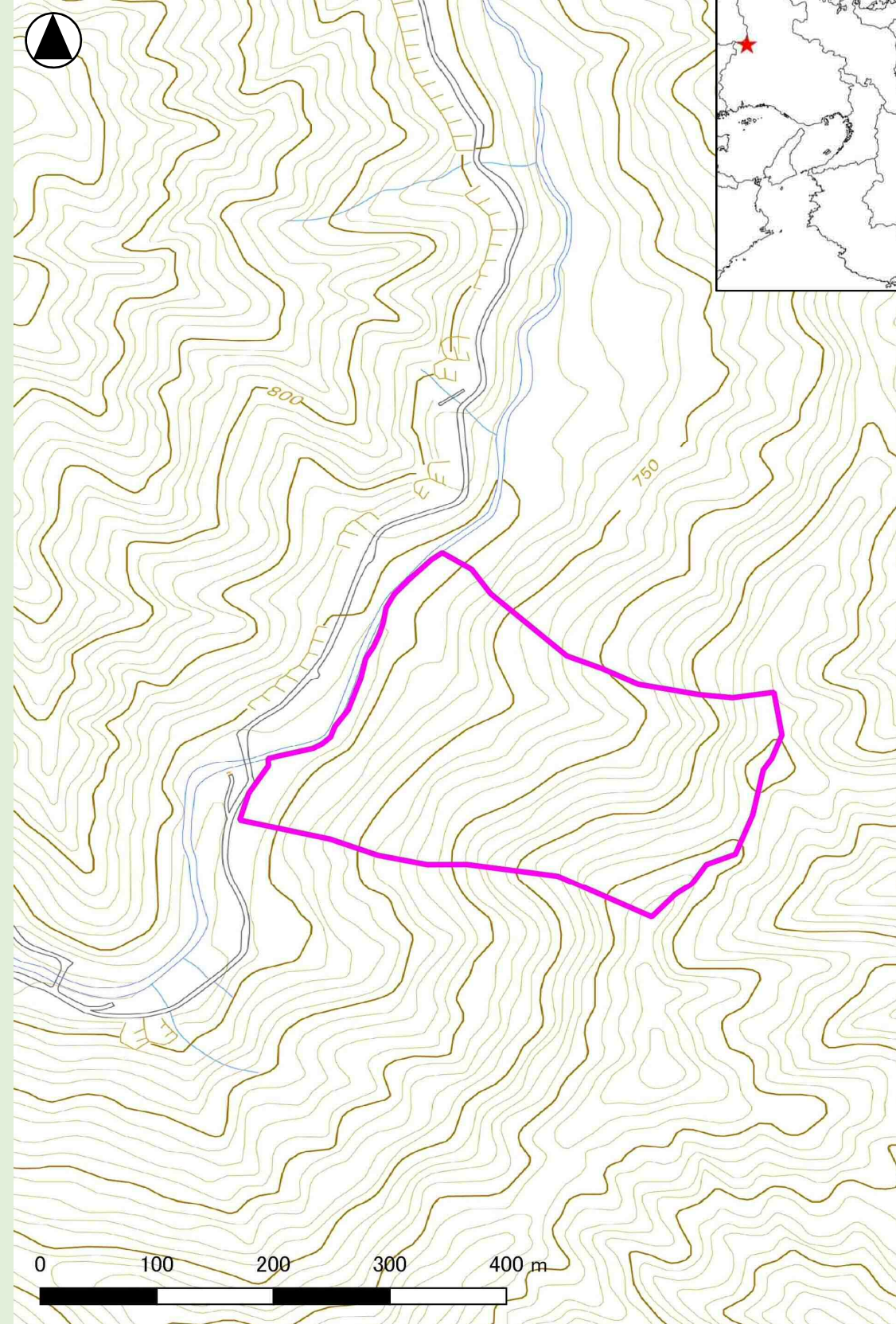
管轄森林管理局・署	近畿中国森林管理局・兵庫森林管理署
所在地・面積	兵庫県宍粟市 ・ 9.70ha
設定年	平成元年4月1日設定、平成30年4月1日再編に伴う名称変更及び管理方針書設定
保護林の概要	<p>当該区域は、東中国山地緑の回廊と接続しており、音水溪谷に面した斜面地である。林内には登山道も整備されており、来訪者は多い。</p> <p>森林植生は、アカシデ-イヌシデ群落の成熟林やブナ-ミズナラ群落の老齢林等で形成されている。</p> <p>主要尾根部～斜面中部はブナやモミの大径木、斜面下部の登山道沿いや谷部の斜面地はイヌシデやミズメ等が優占している。</p> <p>ミズナラは大径木の多くがナラ枯れ被害木となり、白骨化している個体も多数確認され、森林植生への影響が見られる。</p>



### モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林タイプの分布等調査、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、野生生物の生息状況、山火事等災害発生状況調査、病虫獣害・気象害発生状況調査、保護対象種生育状況調査、利活用実態調査、管理体制実態調査
結果概要	<p>保護対象種であるモミ、ブナ、トチノキ、クリは概ね良好に生育しているが、ミズナラは大径木の多くがナラ枯れ被害木となっており、白骨化している個体も多数確認された。稚樹がまとまって生育する更新サイトは、確認されなかった。</p> <p>今回調査したアカシデ-イヌシデ群落やブナ-ミズナラ群落において、踏査ルート上及び周辺で大径木となっているミズナラの多くがナラ枯れとなっていることから、将来的に細いミズナラが混在したブナとモミの森林として維持されると思われる。</p> <p>また、保護林内の下層植生において、ニホンジカによる食害の影響が見られた。主要尾根部を中心に下層植生の衰退が進んでおり、ナラ枯れとあわせて、森林の種組成と階層構造に異常が見られる。</p> <p>これらのことから、当該保護林はニホンジカ及びナラ枯れによる森林被害が大きい地域と判断される。</p>

### 音水モミ・ブナ・ミズナラ等遺伝資源希少個体群保護林 位置図



#### 保護林内での注意事項

- ★貴重な植物群落の保護にご協力ください。
- ★植生の荒廃防止のため、歩道を外れて歩かないでください。
- ★許可なく動植物の捕獲及び採取をしないでください。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。